

平成30年度 青少年問題を考える地域懇話会

当協会では市町村民会議の活動を支援するため、地域の青少年問題について、有識者と地域の育成指導者が意見交換等を行う「青少年問題を考える地域懇話会」を開催しています。

今年度は、9月に江差町で開催した後、11月に根室市において、次のとおり、開催いたしました。

【根室市】テーマ「子どもたちの今を見つめ、地域で支え合うために」 ～子どもたちを健やかに育てるために、地域の大人は何をすべきか～

●日時 平成30年11月14日(水) ●場所 根室市総合文化会館

●共催 根室市青少年健全育成市民会議 ●後援 根室市教育委員会

●話題提供・助言者

「大人も子どもも み～んな笑顔になあれ♪」

～子どもたちを健やかに育てるために、地域の大人はどうかかわっていくのか～

心のサロン Smiley 代表 佐々木 祥子 氏

●コーディネーター

根室教育局教育支援課社会教育指導班主査 吉光寺 勝己 氏



●概要

佐々木先生による話題提供では、①不登校児のソーシャルサポートを通して登校できるようになった事例、②不登校児と親のケアでは、心のサロン「スマイリー」に通いながら、不登校児にはソーシャルサポートを、親には子供にスモールステップの目標設定と満足感や達成感を感じる言葉かけを学んでもらうなど、親子に対するコーチングを行った事例③学級崩壊をしたクラスの立て直しの事例などを紹介しながら、カウンセリングやコーチングにおいては、3つの感情（同感、同情、共感）と4つの傾聴（共感的、能動的、反復的、具体的）を大切にしながら相手が話したいこと、伝えたいことを丁寧に聴くことや受容的・共感的な態度で聴くことが大切だとお話されました。

意見交流では、吉光寺氏の進行により、アイスブレイク「もしもしかめよ」で参加者の緊張をほぐした後、まず、話題提供で印象に残ったこと TOP3をワークシートに記入する。次に、ネットワーク（連携）という視点から子どもたちの健やかな成長のために大人がどうかかわるか、現状を想起し解決策を考える。以上の二つについてグループで意見交流をしました。時間の関係で各グループの交流内容の発表は省略されましたが、熱心で有意義な意見交流がなされました。

佐々木講師からは、学級崩壊のクラスでは、みんなと同じ行動をしない子に「一人一人の価値観が違うから、わかってあげよう」なんて言葉は言わないこと。人は自分の物差しで物事を見てしまい、意見を言いがちだがそれはちがう。子供には言葉で伝えてもわからないので「ワーク」を体感してもらう。「ワーク」をすることで、人は価値観が一人一人違うことを認識させる。子供たちには体験活動もそうだが、体感することをたくさんしてもらい、感じてもらうことが大事だという助言がありました。

